

Oh!Me



インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】

4面に
プレゼント情報!

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.119・4月27日・5月4日合併号 次号は5/11に発行します 毎週木曜発行

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-32-3909
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部

素敵な人!

桑野造船株式会社のホームページ <http://www.k-boat.co.jp/>



選手から指導者
そして製作者へ!

創業140年の老舗から 世界レベルのボートを

桑野造船株式会社は創業140年の老舗。国内唯一の競技用ボート製造会社であり、一般向けにもボートやカヌーなどの製造・販売を行っている。古川さんが社長に就任したのは6年前。「海外メーカーに負けない高品質なボートを!」と、技術開発に意欲を燃やす。また日本ボート協会の参与として競技指導者の養成にも力を入れる。

悔しさをバネに前進

古川さんがボートと出会ったのは瀬田工業高校時代のこと。卒業後、実業団に入団するが背が低いためなかなかレギュラーになれなかったという。しかしその悔しさをバネに練習に練習を重ねた。実力でレギュラーを勝ち取ると、一気にキャプテンにまで駆け上がった。全日本選手権大会で14回優勝、国体でも7回優勝するなど華々しい経歴を積み重ねてきた。



全日本エイト優勝
杯を受取る古川さん(1972年)

科学的根拠で強いチームを

40代になって一線を退くと、次はナショナルチームのコーチを任された。きっかけは古川さんが職場の仲間と協力して開発した「体力測定装置」。従来の選手選考には体格で判断するようなあいまいな点が多く、古川さんは常々疑問を抱いていたという。そこで科学的根拠から代表選手を選ぶという画期的な方法を生み出したのだ。その成果が日本ボート協会に認められ、ソウルオリンピック(1988年開催)では日本選手団の選考を任せると同時にコーチにも就任した。全国から優秀な選手を集め、選抜チームを結成して日本最高記録を出すことに成功した。以来約10年、日本チームの強化に努めた。

選手として活躍し、指導者としても手腕を発揮した古川さん。その経験をボートの製作現場に生かそうと、桑野造船の社長を引き受けた。今後の夢を尋ねると「トップクラスの選手が使うボートはドイツなど海外製がほとんど。日本選手が日本のボートを使って世界で活躍することが夢です」と語ってくれた。また、ボートを通じてスポーツ文化の向上にも力を入れたいとのこと。さらなる活躍を期待したい。(取材・大西)



桑野造船株式会社

●大津市堅田1-21-2 TEL:077-573-8001
●E-mail kuwano@k-boat.co.jp

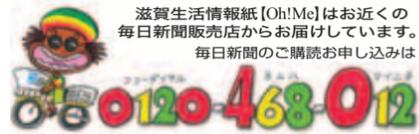
総合型地域スポーツクラブ NPO法人 瀬田漕艇倶楽部

●<http://www.setarc.jp/>

日本ボート協会

●<http://jara.or.jp/>

詳しくは gaido.jp/0777



桑野造船株式会社・代表取締役社長

ふるかわ そうじゅ

古川 宗壽さん(61歳)

今回の素敵な人は、桑野造船株式会社の古川宗壽さん。国内唯一のボート製造会社の社長であり、自らも選手・指導者として活躍。大津市にある同社を訪れ、お話をうかがった。



Human Form in Clay - the Minds Eye

特別展

人のかたち

—もうひとつの陶芸美

カルチャー・ギャップなやきものたち

20世紀初頭以来、美術が抽象的な志向を強める中で、具象的彫刻表現は影をひそめながらも、欧米の多くの陶芸作家たちの中でテーマとされてきた「人」。ベルギーのカルメン・ディオニス、ドイツのゲルトラウト・メーヴァルト、アメリカでは、ファンク・アートの代表的作家ロバート・アーネソンを中心とする流れや、さらにアジアでは韓国、台湾などの11ヶ国26作家を含め、本展では「人」をキーワードに、まさに世界の陶芸シーンを紹介します。この展覧会は、国内、海外の作家たちの「人」をテーマにした作品を通じて、つくり手たちが生み出す多彩なメッセージの実像をたどる、日本で初めての展覧会です。私たちに語りかけてくる作品たちの眼差しは、やきものとの新しい出会いの形を気づかせてくれることでしょう。

平成18年3月18日(土)～6月25日(日)

滋賀県立 陶芸の森 〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7 TEL.0748-83-0909 FAX.0748-83-1193
陶芸の森ホームページ <http://www.sccp.jp/> 携帯サイト <http://www.sccp.jp/i/>

休館日: 毎週月曜日(ただし5月1日(月・祝)は開館) 開館時間: 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料: 一般700円(550円)/高校生・大学生500円(350円)/小中生300円(200円) ※()内は20名以上の団体料金

主催: 滋賀県立陶芸の森/日本経済新聞社 後援: 滋賀県教育委員会/甲賀市/NHK 大津放送局/BBCびわ湖放送 協力: 日本航空

ギャラリー関連イベント

●ギャラリートーク

学芸員が出品作品を前に解説します。
日時: 2006年4月30日(日)14:00～ / 5月28日(日)14:00～
(無料 ただし陶芸館入館券が必要)

●ここにこ! KARADAカフェ

会期中の限定オープン。新緑のガーデンで、さわやかなひとときを! 「人」にやさしいメニューで、お待ちしております。(陶芸館茶室周辺)
5月3日(祝)～7日(日)10:00～16:00



リチャード・ショー
立つ婦人(1998)
滋賀県立陶芸の森

トニー・ナツール
レディ・ネクターと鳥たち(2001)
San Jose Museum of Art.
Gift of Ross and Paula Turk, 2005.09

アキオ・タカモリ
考える人のティーポット(1990)
滋賀県立陶芸の森

マリア・グスラー・ガスラー
陶士のポートレート
「産業風景の詩」(1999)
滋賀県立陶芸の森

ピーター・ヴァンデンバーグ
シニョリータ(2000)
Crocker Art Museum.
Gift of Ruth Rippon

バティ・ワラシナ
女王#1(2001)
個人蔵

ハイオラ・フライ
ワールドマン(1991)
滋賀県立陶芸の森